

研究実施のお知らせ

研究課題名：AI 技術を用いた頭部外傷後の遅発性病態悪化・転帰予測解析

研究期間：仙台市立病院倫理審査委員会承認日～令和 3 年 10 月 31 日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 29 年 5 月 30 日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2011 年 1 月 1 日～2020 年 9 月 30 日に、当院で頭部外傷により入院し治療を受けられた 16 歳以上の方。

【研究の目的と意義】

頭部外傷例では、予期せぬ遅発性病態悪化が転帰不良の原因のひとつであることがわかってきました。しかし、遅発性悪化がどのような場合に起こりやすいかわかっていません。本研究では、過去に当院に入院・治療された頭部外傷の患者様の情報を用いて AI 技術を用いて学習モデルを作成し、様々な検査データのうち、どの値が遅発性悪化を早期に反映しているかを明らかにし、頭部外傷の転帰改善に役立てたいと考えています。

【研究の方法】

患者様の診療録から入院時の状態や血液検査などの情報を収集し、患者様の状態や治療法によって、患者様の転帰がどのように異なるかを解析します。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報（年齢・性別・患者背景・受傷機転・重症度・画像所見・受傷前抗血栓薬の内服状況、血液凝固指標、血液生化学検査所見、6 ヶ月後の転帰）を研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究の実施体制】

研究代表者：

仙台市立病院脳神経外科部長 刈部 博

研究協力者：

東北大学大学院医学系研究科神経外科学分野教授 富永 悌二

東北大学病院臨床研究推進センター特任教授 中川 敦寛

東北大学医工学研究科神経外科先端治療開発分野教授 新妻 邦泰

東北大学 AI Lab 助教 園部 真也

仙台市立病院脳神経外科医長 成澤あゆみ

仙台市立病院脳神経外科医員 竹内 洋平

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供

を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院脳神経外科部長 刈部 博
仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号
電話：022-308-7111（代表）